

目次	P1…新年度の挨拶	P2…総会報告	P3・4…新入会員紹介	P5…COVID-19について考える
	P6…研修会参加記	P7…失語症意思疎通支援事業・失語症全国大会延期について	P8…ふじやま便	
	P9…理事会報告	P10…各局からのお知らせ・編集後記	P11…会員施設一覧	

## 新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史  
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様におかれましては一日も早く平常の暮らしに戻ることができますようお祈り申し上げます。

さて、今年度の定時社員総会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会場出席者は最小人数とし、書面による参加を中心とせざるを得ない状況となりましたが、多くの会員に表面評決を提出していただき総会を成立することができました。理事会を代表して会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

今年度は第22回言語聴覚士国家試験に合格された7名の言語聴覚士が当会に入会されました。言語聴覚士という職業を選択し、又、山梨県に就職をしていただきありがとうございます。本来なら定時社員総会後の「新入会員歓迎会」という晴れやかな舞台で皆さんをお迎えするセレモニーが開催されますが、今回は延期とさせていただきます。状況が好転した際には必ず新入会員の皆様に歓迎する事業を展開したいと考えています。当会は「会員手作りの会」、「顔の見える関係」をコンセプトとし、施設や年齢の垣根を越えて意見交換できる会として運営されています。是非、人として言語聴覚士として成長するための自己研鑽の場として当会の活動に積極的に参加していただきたいと思います。

今年度は普段から力を入れている学術活動、人材育成活動、広報活動、職能活動に加え、県の委託を受けて行う失語症者向け意思疎通支援者養成事業、失語症全国大会 in やまなし、山梨県リハビリテーション専門職同学術大会など例年以上に重要な活動が予定されていました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による参加者の健康への影響に配慮して、失語症全国大会 in やまなし、山梨県リハビリテーション専門職同学術大会は次年度以降への延期が決定しました。

2年ぶりの失語症全国大会を山梨県で開催するために実行委員会では準備を進めてきましたが、感染防止策（ソーシャル・ディスタンスやマスク着用など）を講じての本イベント開催では、全国から参加していただく当事者を元気にし、多くの笑顔を見たいという本来の趣旨とは大きくかけ離れたイベントとなること、何より参加者やスタッフの健康面・安全面が最優先であることから延期を決断しました。

平成29年度より山梨県と意見交換を進めてきた失語症者向け意思疎通支援事業は本年度の予算化が決まり、秋以降に支援者の養成事業を展開する予定です。これにより、県内の失語症の方の生活のしづらさが解消される生活支援事業がスタートすることになります。当会が運営する失語症友の会ふじやまと山梨県との協働で進める本事業については県士会ニュースやホームページで紹介しますので多くの会員に関心をもっていただきたいと思います。

今年度は予定している事業が十分に行えない状況が推測されます。この状況においても歩みを止めることなく、今できることを模索しながら一歩一歩前を向いて進んでいこうと思います。

地域包括ケアの構築のために人が支えあう「地域共生社会」の実現に向けてリハビリテーション専門職も汗を流している最中にまさか、ウィルスとの共生・共存を考える事態になるとは思いませんでした。

我々の生活スタイルをはじめ地域の在り方や言語聴覚療法の提供においても大きな変化をもたらしたこの感染症を教訓に新しい物を生むための転機にしていきましょう。

笑顔で会えるその日まで皆様の健康を祈念いたします。



# 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 令和2年度 定時社員総会報告

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

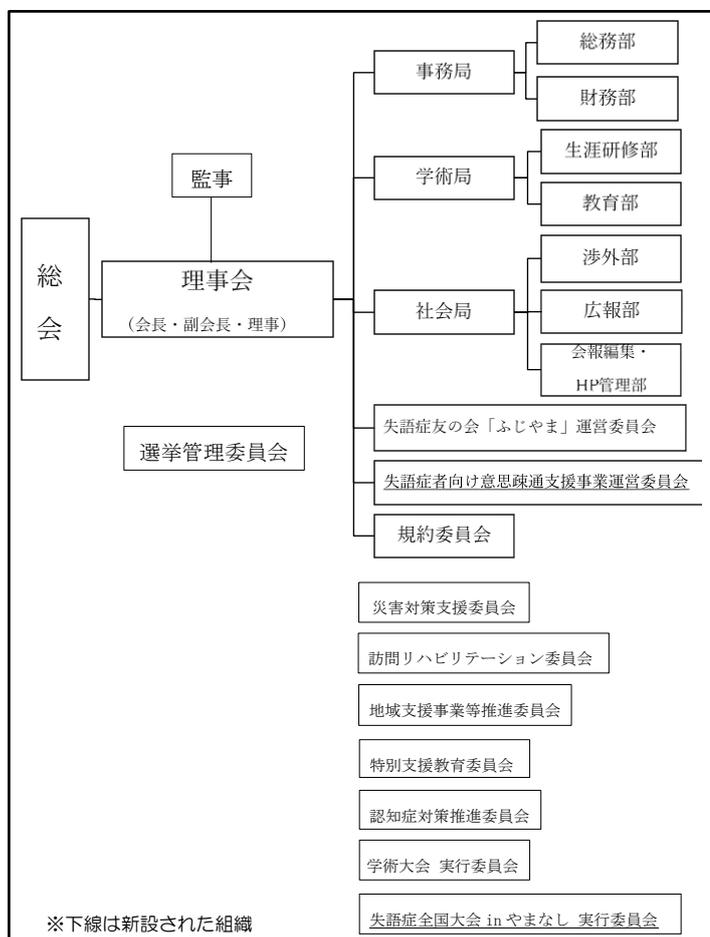
今年度の定時社員総会は、5月14日（木）午後6時30分より、春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 会議室にて開かれました。新型コロナウイルスの集団感染防止のために会員の集会によらない決議（書面表決書、委任状の提出）を推奨し、感染防止策を徹底したなかで最小限の参加者での開催となりました。

開会に先立ち、内山会長より、今年度事業はどのような形で展開できるか不明であるが状況が変わり次第、速やかに事業が開始できるように準備を進めるとの力強い挨拶がありました。

その後、定款第18条に基づき坂井李菜氏が議長に選出され、出席者数は115名（会場出席者14名、委任状提出者28名、書面表決提出者73名）であり、定款第19条の定足数を満たしていることから総会が成立する旨が告げられました。次いで、池神多加子氏、佐々木蘭子氏が議事録署名人に選出され、議案の審議に入りました。

第1号議案 令和元年度事業報告に関する件では、内山会長より各部局、委員会の令和元年度の活動が報告されました。続いて、第2号議案 令和元年度収支決算報告に関する件では、佐々木財務部部长より収支決算報告が行われました。第3号議案 監査報告に関する件では、中村監事より当法人の会計及び業務の執行についての監査報告がありました。採決の結果、いずれの議案も賛成多数で承認されました。第4号議案 令和2・3年度役員承認に関する件では、新年度の理事15名、監事2名が選任されました。次いで、第5号議案 令和2年度事業計画案に関する件では、内山会長より各部局、委員会の事業計画案について、第6号議案 令和2年度収支予算案に関する件では、佐々木財務部部长より収支予算案について説明がなされ、共に賛成多数で承認されました。第7号議案の山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件では、内山会長より令和元年度の各委員会の活動報告、決算報告、令和2年度の活動計画案、予算案について報告され、賛成多数で承認されました。

以上、理事会で提出した議案はすべて承認され、午後7時10分に閉会しました。



※下線は新設された組織

図：令和2年度一般社団法人山梨県言語聴覚士会組織図

令和2年度 役員一覧	
会長	内山 量史（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院）
副会長	赤池 洋（山梨大学医学部附属病院） 赤池 三紀子（湯村温泉病院）
理事	池神 多加子（湯村温泉病院） 石垣 亮太（山梨リハビリテーション病院） 市川 奈弥（巨摩共立病院） 河西 祐子（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院） 桂川 謙祐（甲府城南病院） 佐々木蘭子（春日居サイバーナイフ・リハビリ病院） 高橋 正和（石和温泉病院） 中嶋 崇博（山梨県立中央病院） 舟越 あゆみ（デイサービスいろは） 元木 雄一郎（甲州リハビリテーション病院） 山田 徹（笛吹中央病院） 吉澤 由香（甲府城南病院）
監事	武井 徳子（甲州リハビリテーション病院） 中村 晴江（甲府城南病院）

# 新入会員紹介



たかき けんた  
高木 建汰 (湯村温泉病院)

高木建汰です。出身は静岡県の西伊豆町という伊豆半島にある小さな町です。国際医療福祉大学ではバスケットボール部に所属していました。ラーメンが好きでラーメンの食べ歩きをよくしています。まだ慣れないことも多いですが先輩方や患者様から多くのことを学ぶことができ、とても充実した日々を送っています。明るく笑顔を忘れずに、患者様と良好な信頼関係が築けるよう頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



こばやし かすなり  
小林 壱成 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

私は 10 年ほど身体障害者の方の自立支援を行う NPO 法人で働いておりました。その後、飲食店を経営していましたが、もう一度医療の世界で働いてみたいと思うようになり地元に戻り専門学校への入学を決意しました。県士会長そして言語聴覚士協会副会長である内山先生の元で働けるということは ST として願ってもないことであります。1 年目の ST として、患者様のためそして自身のため自己研鑽に励みたいと思っております。



もちつき ともか  
望月 智佳 (春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

4 月から春日居サイバーナイフ・リハビリ病院に入職しました、望月智佳です。出身は山梨県の甲斐市で、大学は目白大学へ通っていました。幼い頃から人の役に立つ仕事がしたいと考えており、様々な職業を調べる中で言語聴覚士になりたいという思いが強くなりました。これから言語聴覚士として働く上で不得手なことが沢山ありますが、経験を積み、自分の理想とする言語聴覚士に近づけるよう頑張りたいと思います。



いしまと かほ  
石間戸 香穂 (甲州リハビリテーション病院)

出身は秩父夜祭やライン下りなどが有名な埼玉県の秩父です。大学は栃木県にある国際医療福祉大学です。入職して約 2 ヶ月が経ち、少し仕事にも慣れてきましたが、まだまだ未熟なところばかりです。先輩方の患者様に対する姿勢を学ばせて頂きながら、患者様がその人らしく生活できるよう支援していけるような言語聴覚士になれるよう日々精進して参りますので、ご指導とご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



こにし きょうか  
古西 叶佳 (山梨リハビリテーション病院)

私は、今年度より山梨リハビリテーション病院に入職した、古西叶佳と申します。あこがれていた ST という仕事のスタートを切る事ができた嬉しさで一杯です。一方で、患者様と向き合う責任の重さに対する不安も強く感じています。また、新型コロナウイルスへの対応等、大変な状況ではありますが、県士会の皆様と協力し、乗り越えていきたいと思っております。まだまだ未熟者ですが精一杯努めて参りますので、宜しくお願い致します。



わたなべ ゆき (石和共立病院)

こんにちは。今年の4月から石和共立病院に入職しました、言語聴覚士の渡邊ゆきです。私は新潟出身で、山梨に住むのも一人暮らしも全てが初めての経験です。慣れないことばかりですが、とても暖かく賑やかな職場で、毎日多くのことを学ばせていただいています。1日でも早く患者様とチームの力になれるよう、これから精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



しみず えみこ  
清水 笑子 (国立病院機構 甲府病院)

4月から山梨県へ戻ってきました。地元の甲府市で言語聴覚士として働くことができとても嬉しく思います。職場の先輩方にご指導頂きながら、1日でも早く患者様のお役に立てるよう精進して参りたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。



わたなべ まほ  
渡邊 真帆 (山梨赤十字病院)

東京都八王子市にある永生病院の療養病棟と回復期病棟で勤務させていただき、昨年度から地元の富士河口湖町に戻ってきました。ペーパーゴールド免許でしたが、雪道の運転も無事に乗り越えることができ、ホッとしています。今までの経験を活かし、地域の人々の力になれるよう頑張っていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



きのの かなみ  
木野 香奈美 (ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院)

静岡県出身の木野香奈美と申します。経験年数は3年とまだまだ経験が浅いですが、少しでも患者様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。また失語症等の高次脳機能障害の知識を深めたいと考えているため、積極的に勉強したいと思っております。宜しくお願いします。

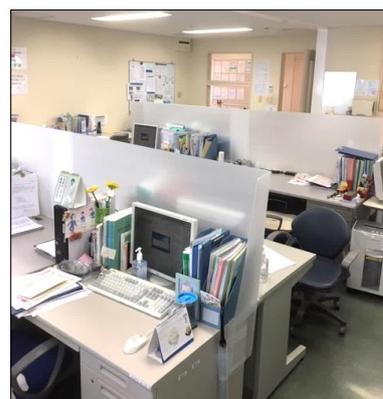
# COVID-19 について考える

山梨県立中央病院  
中嶋 崇博

2019年12月中華人民共和国の湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）は世界に拡大し、世界保健機関による公衆衛生上の緊急事態が2020年1月30日に宣言されました。日本国内においても2020年4月7日に感染が拡大している一部地域に特別措置法に基づく緊急事態宣言が出され、4月16日には全都道府県に緊急事態宣言が拡大されました。緊急事態宣言における外出自粛などを経て、山梨県においても感染者数は徐々に減少に転じてきていますが、2020年5月現在で人口10万人あたり約7人の感染者数が確認されています。COVID-19の影響は計り知れず、日本経済、教育現場、そして感染拡大地域においては医療現場における通常の診療体制の維持も困難となっている状況です。

当院は、山梨県唯一の三次救急医療を担う基幹病院でもあり、第1種感染症指定医療機関にも定められています。COVID-19患者の受け入れ・治療は当然のことながら、「私たち医療現場ができることは何か？」と常に考え、山梨県の最後の砦として診療体制を途絶することなく、院内感染ゼロを目標に診療に取り組んでいます。リハビリテーション科においても他職種と協議を重ね、様々な対応策を試みてきました。まずは環境面への配慮としてスタッフルームのパーティションの設置、个人防护の観点からマスク・手袋・ガウンに加えアイゴーグルの着用、また通常勤務体制である平日勤務を土日祝日勤務を含めたシフト制にすることで、医療の質は保ちつつ一日の出勤人数を軽減させる3密対策への取り組みも実践してきました。このような取り組みは医療現場のみならず、一般企業・サービス業等、様々な業種で導入されている実情です。私たち医療現場で働く職員は常に感染のリスクへの不安を抱かなくてはならない状況かと思いますが、それは一歩院内の外に目を向ければ医療現場のみならず、社会全体が抱いている不安であることにも気付かされます。社会では感染のリスクがあるため働くことができず生活に困窮している方、学校にも行けず・部活も出来ず苦しんでいる学生もいます。私たち医療従事者が全ての方の支援を行うことは難しいかもしれませんが、目の前にいる患者様・ご家族様の心のサポートをすることは可能です。感染対策の為の新たな取り組みを導入・構築することも重要ですが、それと同時に医療従事者だからこそできる支援を継続することも重要と考えています。

最後に、今後引き起こされる可能性がある感染の第2波・第3波に備えて、気を緩めることなく、一人一人が自分は無症状の感染者と捉え“感染させない”意識を持ち行動することが重要だと考えます。そして、多くの方が苦しみ、疲弊されているこの現状が一日でも早く終息し、笑顔で溢れかえった日常が早く取り戻されることを強く望んでいます。



写真左：当院の前に貼られていた匿名の方からの横断幕 写真右：スタッフルームのパーティションの様子

## 令和元年度 研修会参加記

### 災害対策支援委員会「災害時のリハビリテーションを考える」

山梨県立中央病院 萩野谷 巧

災害対策支援委員会主催の研修会に参加させていただきました。今回の研修会で支援者の心構えや災害リハビリテーションの役割について学ぶことができ、貴重な経験ができました。

自らの安全確保や周辺の情報収集は支援者として被災地に赴く際に準備しておかなくてはならない基本的なことです。リハビリテーションに従事する私たちが支援者として赴くことで各種の障害に対応できることや避難所での廃用症候群の予防など様々な視点で周囲を観察し、二次的な問題が発生しないよう支援を行なっていくことが必要であることを実感しました。その中で、言語聴覚士としてコミュニケーション手段の拡大が図れることや摂食嚥下障害に対してアプローチすることができるなど制限のある環境下で被災した方々ができる限り不自由しない生活が送れるように支援できることを再確認することができました。

また、本研修会においては災害時の対応を言語聴覚士同士でディスカッションすることができ、必要な道具や対応方法など同職種間で意見交換できたため、災害時の想定を具体的に行うことができました。災害時の対応について専門職が集まって研修が行える機会は少ないため、大変貴重な経験ができて、有意義な研修会となりました。今回学んだ支援者の基本的な心構えや言語聴覚士の役割を忘れず、今後活かしていきたいと思いました。

### 認知症対策推進委員会研修会

甲府城南病院 桂川 謙祐

令和2年2月18日ぴゅあ総合にて、「公益財団法人 認知症の人と家族の会山梨県支部」代表の田村一貴様をお招きし、研修会が開催されました。

講演では、認知症の症状や対応などの基本的な話から始まり、後半には会の活動が紹介されました。認知症は、高齢になってから発症することが多い病気ですが、若年発症も増えており、会の存在は認知症者が再び地域に戻るためのきっかけになっているようでした。家族については、男性介護者が増え、女性に比べて介護にのめり込みやすく、疲弊してしまう男性の気質に対して、家族同士の繋がりがあがることで、ひとりで介護していても孤独感がうまれないとのことで、会の存在が重要な役割を担っているようでした。田村氏が当日最も強く語っていたのが、専門職の役割でした。現在は、医師や作業療法士との活動が主であり、今後はもっと言語聴覚士にも活躍してもらいたいとエールをいただきました。「言語聴覚士は、コミュニケーションを支える、プロなのだから。認知症の人達が最後まで言葉が出たり、コミュニケーションがとれるよう支え手になって欲しい」との言葉が私の心の中に響きました。

認知症対策推進委員会の活動を通して、会員や地域住民の認知症に対する理解が少しずつ深まってきているように思われます。今後は、認知症に対する正しい知識が更に広がり、認知症であっても安心して過ごせる場所が地域で広まっていくとよいと改めて感じる機会になりました。



# 失語症者向け意思疎通支援事業について

令和2年度より「山梨県失語症者向け意思疎通支援事業」が開始されます

湯村温泉病院 赤池 三紀子

今年度、山梨県からの委託事業として、失語症者向け意思疎通支援事業に予想を上回る予算が計上されました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当会では9月以降の事業開始を目指し、来年3月までには10名の支援者を登録できるように準備を進めています。

支援者養成研修では、厚生労働省から示されている40時間の研修カリキュラム（講義12時間・実習28時間）を軸に具体的な研修の進め方を勘案しながら、国の指導者養成研修を修了した5名が講師となり当会で伝達講習を受講した25名がその補助業務を担って行います。28時間の実習では当会の失語症友の会ふじやまの会員にも協力を依頼します。

今後、支援者の募集など具体的な広報は山梨県や当会のホームページ・配布物によって周知していきますので、会員皆さまにはご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## ○ 失語症者意思疎通支援事業費

1,576千円

失語症者の自立と社会参加を図るため、失語症者の円滑な意思疎通を支援する者を養成する。

(財源：地域生活支援事業費等補助金)

事業内容 指導者養成研修への派遣 支援者養成研修の開催

図：令和2年度山梨県当初予算より引用

## 失語症全国大会 in やまなし 開催延期

今年度事業として開催が予定されていた「失語症全国大会 in やまなし（第34回日本失語症協議会および第9回失語症デイ振興会）」について、一般社団法人山梨県言語聴覚士会実行委員とNPO法人日本失語症協議会の代表者にて話し合いを重ねた結果、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、来年度以降に開催を延期することを決定いたしました。

ご参加を予定されている皆様にはご心配とご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。

失語症全国大会は、1983年より開催されてきた歴史ある大会で、失語症者の方々にとっては活動と参加の場として楽しみにしていただいているイベントでもあり、開催延期を決断するのは、断腸の思いでした。しかし、参加者の健康面を最優先に考えた結果、このような決断となりました。失語症を抱える全国の皆様と笑顔でお会いできることを楽しみに、安全かつ盛会となるよう準備を進めていきます。詳細につきましては、当士会ホームページならびに県士会ニュースなどでご報告いたします。

今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2020年の「ふじやま」は元気な歌声で始まりました。一緒に活動する喜びの中に自ら選択・決定する喜び、役割を果たす喜びも増えています。  
一人ひとりの願いを大切に、さらに活動の場・活躍の機会が広がりますように…

私はコレ！  
迷うけど…うれしい

注文係を担当！  
間違えないように…真剣です

第9回定例会（参加者29名）  
2020年は「新年カラオケ大会」で幕開けです！

今年もよろしくお祈いします

**登録しつご 4月25日は 失語症の日**

4（し）2（つ）5（ご）で、4月25日は「失語症の日」  
脳卒中や外傷などで脳の言語中枢が障害されて起きる失語症について知ってもらおうと、今年から4月25日が「失語症の日」として登録されました

**失語症とは**

それまで自由に使っていた「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」ということばの機能が低下します。  
このため、生活のしづらさを抱え、家庭や社会の中で担っていた役割が果たせなくなり自信喪失になることもあります。

話せない、読めない、理解できない、書けない

6×4=？  
9÷3=？  
5-2=？

啓発用リーフレット一部紹介

山梨県言語聴覚士会失語症友の会「ふじやま」の紹介

失語症のある方が参加しやすい環境を整え、活動に合わせた施設のある方を「交流」にそして、病後生活の質の向上を図り、2019年7月7日に設立しました。

夏 設立集会 国立病院機構甲府病院  
『バーベキューとさくら餅作りを楽しもう！』 参加者20名

秋 第1回定例会 甲斐15のふゆ会館  
『バーベキューとさくら餅作りを楽しもう！』 参加者29名

冬 第2回定例会 大井町ホール  
『第2回山梨県失語症友の会』 参加者19名

春 第3回定例会 甲斐市市民会館101教室  
『新しい年のあめりー一緒に作りましょう！』 参加者30名

夏 第4回定例会 春日井ハイパーアイフ・リハビリ病院  
『お花見とさくら餅作り』 参加者40名

秋 第5回定例会 マルケマルシェ クッキングスタジオ  
『楽しく作って食べよう！～春料理作り～』 参加者33名

冬 第6回定例会 大井町ホール  
『新年の歌とさくら餅作り』 参加者47名

春 第7回定例会 甲斐15のふゆ会館  
『新年の歌とさくら餅作り』 参加者47名

夏 第8回定例会 大井町ホール  
『新年の歌とさくら餅作り』 参加者27名

秋 第9回定例会 カラオケBar Bar 甲府西通り店  
『新年カラオケ大会 今年も元気な歌声で幕開けです！』 参加者28名

『ふじやま』は2年目の春を迎えます

失語症のことをもっと知ってほしい  
ことばがわからなくてつらいのは自分ひとりじゃない  
支援団体とちもっとつながりたい

水の会への参加によって精神との交流が楽しくなり、両方にも変化が出てきています

4（し）2（つ）5（ご）で、  
4月25日は『失語症の日』

山梨県言語聴覚士会では啓発用リーフレットを作成し、失語症のある方々の生活のしづらさ、友の会の役割・必要性等を知ってもらえるよう県内関係団体114カ所に送付いたしました。

その中では、「ふじやま」の活動も紹介されています。

作成：「ふじやま」運営委員会

### 令和元年度 第7回理事会議事録

日 時：令和元年10月23日（水） 18時40分～20時47分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、市川、池神、桂川、佐々木、小池、高橋、  
中嶋、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 代議員選挙に赤池(三)副会長と中村監事の二人が立候補することとなった。
2. 県施策及び予算編成に対する要望事項として「失語症者向け意志疎通支援事業」の予算化、脳卒中・循環器病対策基本法における都道府県循環器病対策推進協議会への言語聴覚士等リハビリ専門職の配置、インクルーシブ教育推進事業におけるリハビリテーション専門職活用の継続についての3項目を提出することとなった。

### 令和元年度 第8回理事会議事録

日 時：令和元年11月18日（月） 18時36分～20時36分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、池神、市川、桂川、小池、佐々木、高橋、  
中嶋、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. ST協会代議員選挙について、立候補者が定数63名を超えたため投票選挙となったことが報告された。当会からは赤池三紀子副会長、中村監事の2名が立候補しており、当選に向けて対応していくことが確認された。

### 令和元年度 第9回理事会議事録

日 時：令和元年12月20日（金） 18時36分～21時29分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、池神、市川、桂川、小池、佐々木、中嶋、  
元木、吉澤、河西

欠席理事：高橋、山田

<協議事項>

1. 「失語症者のつどい全国大会 in やまなし」を令和2年9月12日に開催することが決定した。言葉の海に同封するチラシを1月中旬までに作成、予稿集は当日配布、終了後に記録集を作成、大会長は当事者、実行委員長は内山会長、会場や宿泊先については旅行会社へ依頼することが承認された。今後、理事を中心に実行委員会を組織し、プログラムや広報方法などを検討していくこととなった。
2. 山梨県からのフレイルトレーナー養成事業への協力について、中北地域は向ST、峡東地域は河西理事が対応することが決定した。
3. 第3回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の実行委員11名を運営委員で検討することとなった。
4. 山梨県在宅多職種で作成中である「多職種との情報共有ツール（仮）」について各職団体のホームページから資料をダウンロードできるようにしたいと依頼があり、PDF版で掲載することが承認された。
5. 山梨県失語症者のつどいの記録集について、今後も全会員施設へ送付することが決定した。記録集の最終ページで「失語症者のつどい全国大会 in やまなし」のお知らせを掲載することとなった。
6. 県士会HPのトップページを20周年記念式典の写真へ変更することが決定した。
7. 20周年記念誌の発行に伴い、第45号は掲載内容が増加するため4ページ追加することが決定した。
8. 学術大会の冊子版記録集は、講師3名へ郵送し、1部事務局で保管することが決定した。県士会員へはPDF版を県士会ホームページに掲載し、CD-Rでの記録集は作成しないこととなった。当日の動画DVDは今後も作成していくことが決定した。

### 令和元年度 第10回理事会議事録

日 時：令和2年1月31日（金） 18時40分～22時02分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、市川、池神、桂川、佐々木、小池、高橋、  
中嶋、山田、吉澤、河西

欠席理事：元木

<協議事項>

1. 厚生労働大臣表彰候補者について、山梨県の該当者は内山会長、赤池三紀子副会長の2名であることをST協会事務所に報告することとなった。
2. マイクとスピーカーを購入することが決定した。
3. 県士会HP会員所属施設一覧掲載施設については、施設写真掲載可否の確認を行った後に掲載する。また、県士会員不在の施設については削除することとなった。
4. 認知症サポーター養成講座を新卒者研修の中で開催することが可能か、教育部で検討していくこととなった。

### 令和元年度 第11回理事会議事録

日 時：令和2年2月21日（金） 18時43分～22時42分  
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、池神、市川、桂川、小池、佐々木、高橋、  
元木、山田、吉澤、河西

欠席理事：中嶋

<協議事項>

1. 理事会当選者会議が3月30日に決定した。
2. 令和2年度社員総会までのスケジュールが決定した。
3. 次年度の生涯研修部活動について、症例検討会、基礎講座、専門講座、学術講演会（2～3回）の実施が決定した。
4. 県士会ニュース46号の企画が決定した。

### 令和元年度 第12回理事会議事録

日 時：令和2年3月24日（火） 18時36分～20時27分  
出席理事：内山、赤池(三)、池神、市川、小池、佐々木、山田、河西  
欠席理事：赤池(洋)、桂川、高橋、中嶋、元木、吉澤

<協議事項>

1. 理事当選者会議、第1回・第2回理事会を予定通り開催することが決定した。令和2年度からは、欠席理事に委任状提出を求めることが決定した。
2. 令和2年度社員総会を欠席する会員には、書面表決・委任状の提出を依頼することが決定した。
3. 新入会員歓迎会の延期が決定した。
4. 東日本大震災復興支援事業について、チャリティは学術大会で実施し、財務部で管理していくことが承認された。
5. VF甲府子ども夢プロジェクト賛助金の継続が決定した。

場 所：春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

議 長：内山量史

書 記：坂井 李菜、林 正裕、高橋里実

議事録作成：河西祐子

## 《各局からのお知らせ》

### 事務局

- ・6月の第3回理事会より新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議となりました。
- ・今年度の正会員数は136名です。すでに多くの会員に会費を納入していただきましたが、まだ納入がお済みでない方は、佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。(年会費 10,000円)

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲンゴチヨウカクシカイ

今後、どのような形で県士会活動が再開できるのか、先が見えない現状ではありますが、状況の変化に対応したタイムリーな情報を発信していきます。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

### 学術局

昨年学術局主催の講演会・研修会にご協力頂きありがとうございました。本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々なイベント開催に制限があります。今後の予定に関しては決定次第、皆様に速やかにご連絡致しますので、よろしくお願い致します。

### 社会局

社会局は渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の3部体制で活動しています。

#### <渉外部>

日本語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの他団体との連携や行政との連携・協力を行っていきます。また、各圏域で活躍されている会員と情報共有を行っていきます。

#### <広報部>

一般の方々に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を図っていきます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためにイベント活動に制限が出るかもしれませんが、イベント活動以外においても言語聴覚士の社会的認知度を高めていきたいと思っております。

#### <会報編集・ホームページ管理部>

会報誌「県士会 NEWS 46号、47号、48号」の発行を行い、県士会活動を知っていただくだけでなく会員間のコミュニケーションツールとして、多岐にわたる情報を伝えていきたいと思っております。また、ホームページでは運営・管理を行い、県士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進していきます。

## 編集後記

日々の業務に加え、新型コロナウイルスの影響により皆さん忙しく業務に当たられている事かと思っております。今年は新入会員歓迎会も無く3蜜回避を行う等、異例の年度初めとなったのではないのでしょうか。私自身、マスク越しで患者様と関わる事や一定距離を取り大きな声を出さない等の制限に戸惑いを感じていました。その中で今まで使用していなかったテレビ電話を使うことも増え、新たなプランの立案を行っています。新入会員皆さんも仕事を始めて、慣れない業務に悩みや不安を抱えていると思います。その中で各々が楽しみを見つけられていたらと思います。私も未熟ではありますが、患者様の笑顔が少しでも増えるように日々精進していきます。(坂本 楓)

### 一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

- <発行所> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会
- <発行人> 内山量史
- <編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 広報局会報編集・HP管理部
- 石和温泉病院 南 暉子
- 石和共立病院 原 史佳
- 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 志 摩 月
- 甲府城南病院 秋 山 仁 哉・桂川 謙 祐
- 湯村温泉病院 河 村 有 美 樹
- 山梨大学医学部附属病院 岡 池 大 洋
- <事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内  
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436  
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
- <発行日> 2020年7月1日 第46刊

# 令和元年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

令和2年5月現在

## 【医療関係】

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韭崎市旭町上條南割 251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890	巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3900	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017	ツル虎ノ門外科・ リハビリテーション病院 リハビリテーション科	402-0005 都留市四日市場 188	Tel 0554-45-8861 Fax 0554-45-8876
介護老人保健施設ひばり苑 リハビリテーション科	409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰 1277	Tel 055-275-9511 Fax 055-275-9512	笛吹中央病院 リハビリテーション技術科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0032 富士吉田市上吉田東 7-11-1	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信梨北リハビリテーション病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992
健康科学大学 クリニック	401-0302 南都留郡富士河口湖町小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション課	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569
甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 Fax 055-241-8660	湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579
国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597	竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262

## 【介護・福祉・教育関係】

おおくに在宅ケアセンター おおくに訪問リハビリテーション	400-0053 山梨県甲府市大里町 5328	Tel 055-220-2555 Fax 055-220-2556	富士・東部 小児リハビリテーション診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221	山梨県立あけぼの医療福祉センター 成人寮アドバンテージあさひ 自立訓練部門	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-30-0111
しらゆり 訪問看護ステーション	400-0114 甲斐市万才 289	Tel 055-276-9933 Fax 055-276-9939	山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韭崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628
ノーサイドクリニック甲府教室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401	山梨県立 こころの発達総合支援センター 相談医療課	400-0851 甲府市住吉 2-1-17	Tel 055-288-1695 Fax 055-288-1696

## やさしい聴こえのお手伝い



- 認定補聴器技能者在籍
- 試聴器の無料貸出
- 支援法補聴器取り扱い

写真：シグニア補聴器 スタイルレット 充電式



## 認定補聴器専門店 山梨リオン補聴器センター

甲府店 ☎ 0120-29-3321 玉穂店 ☎ 0800-800-8173  
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

## 私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。



**Atos**  
Atos Medical Your voice

株式会社アトスメディカルジャパン  
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F  
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890  
info.jp@atosmedical.com

HEALTH CARE FOOD  
在宅 通信販売  
Healthy Network



## 病院で使われている介護食を ご家庭にお届けしています。

- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
- ☑ 飲食時によくむせる方に
- ☑ 食の細かい方に

やわらかさの程度や形態別に分類されたおかず、とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

とろみ調整食品は  
トロミパワースマイル  
がオススメ！

カタログのご請求・お問い合わせは

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3

株式会社ヘルシーネットワーク  
0120-236-977 受付時間 9:00~17:00※日・祝除く  
ヘルシーネットワーク 検索 <http://www.healthynetwork.co.jp>



ヘルシーフード 検索

かきまぜても離水しにくい新しいゼリー

## まぜても ジュレ

従来のゼリーにはない特性を持った  
リセットゲルになります

- クラッシュしても離水しにくい
- 再結着性(まとまり)がある
- よくかきまぜるととろみ状になる



foodcare JAPAN 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本4-19-16 OMGビル  
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444



おいしく、たのしく、嚥下リハビリのお手伝い

## 摂食嚥下リハビリ食のラインナップ紹介

様々な製品を取りそろえています。

<p>毎食頂く毎に楽しめる 10種類の味</p> <p><b>エンジョイゼリー</b> プレーン いちご コーヒー チョコレート あずき味 バナナ味 さや 抹茶 スイートポテト味 りんご味</p>	<p>個別の栄養状態に合わせた 食べやすさ</p> <p><b>エンジョイカップゼリー</b> いちご味 キャラメル味 あずき味 コーヒー味 りんご味 マンゴ味</p>	<p>原産地を指定される40g</p> <p><b>エンジョイ ハイカロリーゼリー</b> りんご味 もも味</p>	<p>とろみの食の向上とはやさしい とろみ</p> <p><b>とろみ quickly</b></p>
--	--	--	---

他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。  
☎ 0120-52-0050 [クリニコ] 検索 <http://www.clinico.co.jp>

産別乳業グループ栄養機能部門  
株式会社クリニコ

唾液のチカラで健康と笑顔を  
お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

## Pepti-Sal



Pepti-sal(ペプチサル)とは、  
「Peptide (ペプチド)」+  
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された  
低刺激性のオーラルケア製品です。  
デリケートなお口をやさしくケアし、  
お口の環境を健康に保ちます。  
要介護の方のケアにもおすすめです。

2014年12月発売



T&K ティーアンドケー株式会社 ☎ 0120-555-350 [www.comfort-tk.co.jp](http://www.comfort-tk.co.jp)  
受付時間: 午前9時~18時(土日祝日を除く)



「医療専門家 × 医療機器ベンチャー × フードケア」  
連携の新しい会社「カレイド株式会社」  
何気ない普段の「おいしい、もぐもぐ、ごっくん」の三拍子が、  
上手できない方々への「あきらめない」を応援したい。  
3年目のカレイド、そして  
「ジェントルスティム(干渉電流型低周波治療器)」を  
よろしく願っています。



オーエムジープファミリー QOL(生活の質)を支える「食事・嚥下ケアカンパニー」として日本から世界へ

「ケア食」で毎日を楽しむ  
株式会社フードケア  
TEL: 042-700-0555 FAX: 042-700-7444

「ケア器」で毎日を支える  
カレイド株式会社  
TEL: 042-700-8830 FAX: 042-700-8840



誤嚥リスクの低減

新しい背上げ  
ハイバックサポート機能



P300  
シリーズ

医療・介護ベッドメーカー  
株式会社プラッツ  
<http://www.platz-ltd.co.jp/>  
■関東支店 / 関東ショールーム  
〒105-0014 東京都港区芝2-16-9 芝YSビル3F  
TEL.03-5427-8033 FAX.03-5427-8031  
■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島